

ビヤクシン類植えないで

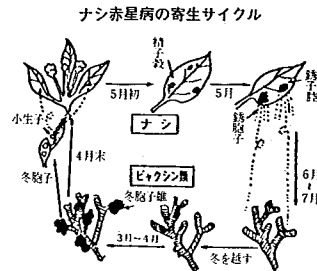
梨の赤星病予防に協力

市でも近く一斉防除

「赤星病」、ご記憶でしょうか。昨年、市内をはじめナシの生産地近郷に大発生したナシの病気で、葉や果実に

だいたい色の病斑をつくり、ナシとしての商品価値を低下させるばかりか、木そのものも根こそぎ不能にしようという恐しい病気で、

ところがこの病原菌は、困ったことに家のまわりなどの樹木としてよく見かけるカイイブキ、シンバク、タマイブキといったビヤクシン類に必ず寄生する性質をもっています。いつも清潔なミドリを保ち、見た目も美しくビヤクシン類の愛好者は多いのですが、ナシやリンゴの木には大敵なのです。ナシの木の葉などにできた胞子がこのビヤ



ナシ赤星病の寄生サイクル



赤星病を媒介するカイイツカイブキ

クシン類で越冬し、春さきの雨で四〜五倍にまでふくれ、小生子という胞子が出て、風にのって二キロメートル四方も飛散するからです。ビヤクシン類によってこれが毎年、リチンされることになれば、被害は広がるばかりで、ナシの生産はともおぼつきません。予防の決め手は、ビヤクシン類を「追放」することですが、なかなかすぐにはいけません。少しでも赤星病の発生を防止するため、みんな今後、庭などの樹木には、

農作業メモ



稚苗移植の育苗

「苗木作」といわれている。苗木の良否が収量に大きく影響しますので、充実した健苗を育成しましょう。育苗に理想的なところ。日照時間が長く、よく照らされ、風通しがよく、乾燥が避けられること。きれいな用水が近くにあり、こと。硬化床が地続きで十分あること。○ねぎ、もぐら、雀の害がないところ。○育苗日数は十五〜二十日とします。

○早まきや低温の年は二十日。○遅まきや高温の年は十五日。○緑化期の目標。緑化第一日は直射日光をさけて、保温シートで温度を保ち、その後ゆるやかに緑化する。○この時期に十五度以下の低温にすると、白化や立枯病の誘因となる。○緑化が始める時期は、霜葉が八〜十ミリメートルになった時が適期である。緑化に出すとき五ミリメートル位では早すぎる。夕方よく八〜十ミリメートルになったので、夜は温度が下がるので、ハウスに出せない時はそのまま朝までおけば二十ミリメートル以上

に成長する。こんな時は二十度以下に下げ朝まで待つ。このまま弱光を入れて予備緑化もできる。○硬化・仕上げ。夜間十度以下にすると立枯病が多く出る。昼は二十度、夜は十度、午後は早めに被覆する。ハウスから出たばかりの苗は弱い。○かん水。かん水の時期は、葉がまき始めた手遅れである。寒いときは、夕方かん水しない。田植近くになったら、底部吸水もよい。○予防。いもち病が発生しやすいので、田植二日前にメドに予防する。薬剤は、カスミン液剤二百倍を散布する。

○ビヤクシン類を選ばない。○ビヤクシン類が植えてあったら、極力他の樹木と植えないよう。○一斉防除を実施し、使用する薬剤は人畜には無害で、散布時、干物をしまつとか、戸閉りに注意するなど、協力をお願いします。○庭木などに常緑樹を植えるさいは、次の樹木以外のものを選びましょう。カイイブキ・タマイブキ・ハイビヤクシンをなく、ミヤビヤクシンしんばく、イネズミサン(ねず)、ハイネズ・ビヤクシン。○不明な点は市役所農林課へ

く植えられている地帯を対象に、一斉防除を実施します。使用する薬剤は人畜には無害で、散布時、干物をしまつとか、戸閉りに注意するなど、協力をお願いします。○庭木などに常緑樹を植えるさいは、次の樹木以外のものを選びましょう。カイイブキ・タマイブキ・ハイビヤクシンをなく、ミヤビヤクシンしんばく、イネズミサン(ねず)、ハイネズ・ビヤクシン。○不明な点は市役所農林課へ



(18)

平安時代なごころの康平五年(一〇六二)九月、鎮守府將軍源頼義は陸奥の豪族安倍貞任を、羽川の戦いに敗って前九年の役は終りをつげました。時に貞任の配下に黒鳥兵衛という者がいました。残

大蔵の古墳

越の天地を縦横に暴れまわり、暴虐のかぎりをつくしたと伝えられ、各地に黒鳥伝説が残されています。大蔵の古墳も黒鳥伝説にまつわる話です。

市内大字大蔵は小阿賀野



大蔵は黒鳥と共に加茂次郎義綱に滅ぼされたと信じられていますが、その遺骸を埋葬してその上に小祠を建てたと伝えられています。そしてこのときに出た人骨のうちの一体の「歯」が横

川に沿った小集落です。この部落の堤防上に、いつのころから小さな祠があり、ました。この祠は宝暦七年(一七五七)の大洪水で小阿賀野川の堤防がくずれ、ために他へ移されました。そのとき、くずれた堤防のあたりから幅の広い板を掘物のように作った棺が発掘されました。そして棺の中からはとてつもなく大きい骸骨が出ました。土地の人びとは、これは黒鳥兵衛の一味で大蔵兵衛という者の遺骸だとしていました。大

越村の市村家に伝えられ、文化十二年(一八一五)、水原の小田島允武という人がこの歯をつぶさに観察して、原寸大に写生し、その著書「越後野志」に掲載したのが左の図です。市村家は後に北海道へ移転していまは、その歯も見ることはできませんが、これも人間の歯とは思えないほど大きなものだったということです。また、大字川口のうちの鮭川部落に近い野中村、源義家、磯の石と呼ばれる大石があります。源義家が奥州征伐のときこ

こを通過し、なにかのことで投げたもので、といわれます。一説にはこの石を投げたのは弥彦明神だとも伝えられています。それは、大蔵兵衛があるとき日当りよい場所に着物のシラミ取りをしている所を、はるかからお弥彦さまがご覧になり、ご廟所近くの大石を取り上げ大蔵めがけて投げられたところ、その石は大蔵のかかとに当たって、大蔵は近くの鉱泉で傷の手当をしましたが、神罰を蒙った身は効験もなく間もなく死んだということです。

新津郷土史研究会

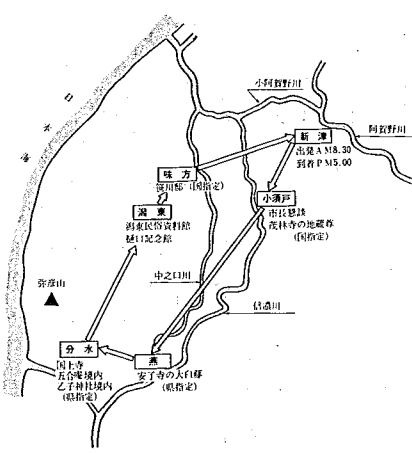
石川新一郎

史跡・文化財めぐり

蒲原西部を訪ねて

市長懇談も

豊かな蒲原平野の穀倉地帯をよぎりながら、そこに残るいくつもの史跡や文化財をたづねる一日を計画しました。(四)とき：五月二十三日(日)コース：図のとおり募集人員：百名心経費：一人千二百円心申込み：住所、氏名、連絡先(電話)を首製ハガキに書いて申込んでください。(四月二十日消印まで有効)あて先は、本町四一五三三新津市立記念図書館です。なお、申込み多数の場合は、



お買物、ご用命は市内で

ボリュームある肉料理専門店

すき焼 とんかつ 箱岩

新津市本町3 TEL (2)4516

全国菓子大博覧会有功大賞受賞!!

秋葉山・平和塔最中・祝儀・仏式・お菓子



新津市本町一丁目 農協前 TEL (2) 0462

メガネのことならご相談下さい

Nikon ニコンメガネレンズ

一にいつメガネセンター

N 野本時計店 眼鏡部

本町3丁目 TEL 2-0070

お買物、ご用命は市内で

看板・車文字専門

技術本位.....

有限会社

二本看板

新津市本町1 TEL (2)-1380